インターネットへの接続

自宅から通う学生は

今やパソコンを単独で使うよりもインターネットに接続して利用する場合の方が多いでしょう。皆さんが自宅でパソコンを使う場合も同様です。大学生活では自宅にインターネットが接続されていることは必須ではありませんが、明らかに学習に有利である場合が多く、今後ますますその傾向は強まるでしょう。

皆さんが家族と一緒に自宅から大学に通学しているのであれば、冒頭に述べたように多くの家庭がすでにADSLやCATV、光ファイバーなどのブロードバンドに接続していますので、皆さんの家庭でもすでにインターネットへの接続環境は整っていると思います。

もし、そうでないのであれば、家族と相談してこの機会にそうしたブロードバンドへの接続を検討すると良いでしょう。もちろん毎月ある程度の金額がかかりますので、家庭の経済状態とバランスを取る必要があります。もし経済的な余裕がない場合は、必要以上に高速で高額な契約をする必要はありません。一般的な大学生活で使う用途では回線速度は最低1Mbps以上あれば実用に耐えますし、12Mbps以上であればほぼ快適と言ってよいでしょう。プロバイダの中には、回線速度は若干遅いですが、契約価格を抑えたコースを用意しているところもあります。

アパートや下宿等でひとり暮らしの学生は

では、皆さんが下宿生活やアパート、学生寮などで生活をしている場合はどうでしょう？もし幸いにしてそのアパートや下宿、寮がブロードバンド接続に対しての便宜を図っている、たとえば建物全体で光回線の契約をしている等の場合は、迷わずそのサービスを利用すれば良いでしょう。

自分で契約するのであれば、光回線やCATVは月額利用料金が高価ですし初期工事費も必要です。ADSLは比較的安価ですが、利用するには固定電話回線を持っていることが前提で、最近のように携帯しか使わない学生諸君の生活パターンには合いません。いずれにしろ導入工事をするためには大家さんの許可も必要ですし、そのアパートを４年間使うかわからない状況で工事費に投資をするのはあまり現実的ではないでしょう。

■Wimaxのポケット無線端末

むしろ、ひとり暮らしの学生へのお勧めは、イー・モバイル(em)やWimax(UQ)、各社のLTEなどのようなモバイルデータ通信を利用することです。少し前まではUSB端子に直接接続するスティック型のデータ通信カード（外見はUSBメモリに似ています）が多かったのですが、これからは図のようなポケット無線端末型が主流になりそうです。これ一つで複数台のパソコンを同時に接続できるだけでなく、スマートフォンやその他の無線LAN対応機器も利用できます。都市部であれば、ほぼ全域をカバーしているので、これを持ち歩けば自宅だけでなく野外のどこからでもパソコンをインターネット回線に接続して利用することができるメリットがあります。

接続速度は光やCATVに比べればやや遅いですが、よほど大きなファイルをやりとりするのでなければ実用上充分です。少なくとも自宅でBlackboard@TamagawaやUNITAMAなどを利用するには、必要十分以上の接続速度は得られます。

通信料金ですが、いくつかの料金プランがあるようですが月額2,000円～4,000円程度で

使い放題という価格設定が多いようです。日本中どこでも使えるメリットを考えると、ひとり暮らしでの利用には現在のところ最適でしょう。

大学の無線LAN環境を使うことも

上記のように自宅でインターネットを接続するには、それなりの出費を覚悟しなければなりません。もし経済的に厳しい状況であれば、最後の選択肢としてはなるべく大学のキャンパス内でパソコンを利用することです。本学ではパソコン演習室だけでなく、ほとんどすべての授業教室や図書室、食堂などで無線LANを利用することができます。

ただし、日曜日は安全のために多くの校舎は中に入れない場合が多く、土曜日は特定の校舎や図書館だけが解放されています。夏休みや春休み等の長期休暇中も利用できる教室が限られますので、そのことを念頭に入れておかなければなりません。なお、この学内無線LANを利用できるのは、本学の学生に限られることは言うまでもありません。